

平成25年度 一般会計当初予算 歳出の主なもの



と き
時間ゆたかに流れ
くらし潤う創造都市 橋本

一般会計

250億7,470万7千円

(対前年度比17.9%減)

特別会計

171億 924万4千円

(対前年度比 2.4%増)

企業会計

102億6,528万1千円

(対前年度比 9.0%増)

全会計

524億4,923万2千円

(対前年度比 7.4%減)

歳入総額
250億7,470万7千円

一般会計の内訳

歳出総額
250億7,470万7千円



市民1人当たりの市税負担額
99,567円

市民1人当たりが受ける行政サービス額
375,291円



※「市民1人当たりの市税負担額」および「市民1人当たりが受ける行政サービス額」は平成25年1月31日の市の住民基本台帳登録人口数(66,814人)で除して算出しています。

総務費

◆庁舎耐震改修事業に要する経費 2億1,146万7千円

平成24年度に庁舎南館の耐震改修工事を施行していますが、平成25年度は庁舎北館の耐震改修工事を施行するための予算

▶今年1月から始まった庁舎南側の耐震改修工事



民生費3-1

児童福祉総務に要する経費

◆三石保育園管理運営委託料

1億2,158万1千円

平成25年4月に新築移転した三石保育園の管理運営委託料を計上。

三石保育園の管理運営は指定管理者「万年青(おもと)友の会」に委託。

民生費3-2

こども園整備に要する経費

◆こども園園舎新築工事基本・実施設計監理委託料

1, 270万7千円

◆埋蔵文化財調査委託料

2, 000万円

平成27年4月開園予定の「橋本こども園」と「(仮称)応其こども園」設計委託料と、「橋本こども園」建設用地は埋蔵文化財の調査が必要なため、埋蔵文化財調査委託料を計上。

民生費3-3

保育所管理運営に要する経費

◆土地家屋借上料

3,322万3千円

伏原・名古屋曾保育園の耐震診断の結果、平成27年度にこども園への新築移転となったので、移転までの平成25年度～26年度の仮設園舎を設置するための、プレハブ借上料など。

[平成26年度債務負担行為 5,300万円]

衛生費

高野口斎場周辺整備に要する経費

◆集会所新築及び児童公園トイレ等改築事業

1億2,760万1千円

市内にある2箇所の斎場が平成24年度から高野口斎場に統合されたことにより、斎場周辺整備の一環として集会所の新築、及び児童公園トイレ等を改築する経費を計上。

農林水産業費

◆農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費 2,141万6千円

西畑地区の土地改良事業を、平成24年度から平成28年度までの5年間で実施する。

ほ場整備面積3.9ha、農道整備(幅員4m、延長625m)を施工する予定で、平成24年度は測量設計委託を実施しており、平成25年度は用地補償と一部工事を施工。

商工費3-1

◆新技術・地域資源開発補助金 300万円

本市のパイル織物は、生地開発(中間財)に取り組んできたが、本事業により「パイル織物」を活用した小物・雑貨製品(最終製品)を製造して直接販売することで、地域経済強化・地域雇用・投資拡大など、産地の活性化を図る。

商工費3-2

企業誘致に要する経費

◆紀ノ光台Sゾーン等整備事業費

1億4,654万5千円

紀ノ光台Sゾーンの公園等の整備、法面保護工事及びG6街区の進入路工事や妻地内の水路改修工事費を予算計上。

▶建設が進むSゾーン用地



商工費3-3

観光振興に要する経費

◆ (仮称)橋本市民祭開催補助金 1,000万円

平成24年度までは、紀の川祭補助金1,000万円、紀の川カッパまつり補助金300万円を計上していたが、平成25年度以降は紀の川祭と紀の川カッパまつりを統合し、紀の川橋本SUMMER BALLとして開催する予定。

土木費6-1

高野口斎場周辺整備に要する経費

◆斎場周辺整備事業

1,300万円

斎場が平成24年度から高野口斎場に統合されたことにより、斎場周辺整備の一環として斎場周辺の道路整備経費を計上。

土木費6-2

緊急防災・減災事業に要する経費

◆避難路整備事業[市単独事業]

7,400万円

避難拠点である学文路中学校への避難路を整備するため、緊急防災・減災事業債を活用して、平成24年度に引き続き避難路を新設する予算を計上。

土木費6-3

河川管理に要する経費

◆大谷川河川修繕等事業[市単独事業]

2,410万円

学文路、南馬場地内を流れる大谷川を5カ年計画で修繕していくとともに、市内各河川の増水時の浸水対策を強化するため、排水ポンプ4台を購入する予算を計上。

土木費6-4

伏原田原線整備に要する経費

◆伏原田原線整備事業

1億1,010万6千円

国道24号線と京奈和自動車道側道を結ぶ都市計画街路伏原田原線の整備する予算を計上。

土木費6-5

社会資本整備総合交付金に要する経費

◆御幸辻駅前広場・杉村公園駐車場整備事業

2億654万2千円

国道371号バイパスから南海御幸辻駅及び杉村公園への利便性の向上を図るため、御幸辻駅前広場を整備するとともに、杉村公園の駐車場を整備する予算を計上。

土木費6-6

高野口斎場周辺整備に要する経費

◆高野口斎場周辺整備事業

8,075万6千円

平成24年度から斎場が高野口斎場に統合されたことに伴い、斎場周辺整備事業の一環として名古屋児童公園を整備する予算を計上。

消防費

災害対策に要する経費

◆災害対策関係経費

1,847万円



▶非常食と備蓄飲料水

本市の防災対策推進のため、非常食の補充や市の水道水を活用した備蓄飲料水の確保を図るとともに、啓発冊子等の印刷や、市内各避難所に設置する防災倉庫に必要な備品を計画的に整備する。

・備蓄用非常食(2,000食)	142万円
・防災ハンドブック及び地域防災計画概要版の印刷製本費	600万円
・備蓄用飲料水(10,000本)の制作委託料	105万円
・無線機・投光器等、防災倉庫の備品購入費	1,000万円

教育費3-1

小学校建設に要する経費

◆ 応其小学校特別教室移転事業 4,000万円

応其小学校特別教室棟は耐震性に問題があるため、小学校本体の空き教室を改修して移転させるための設計監理委託料及び工事費を予算計上。

教育費3-2

(仮称)西部公民館建設に要する経費

◆(仮称)西部公民館建設事業

681万3千円

西部公民館は、昭和41年3月に旧山田中学校の体育館を改修し、地区公民館として利用してきたが、老朽化し狭い状況であるため、平成26年度新築に向けて手数料及び設計監理委託料を予算計上。

教育費3-3

産業文化会館等管理運営に要する経費

◆産業文化会館改修事業

1億1,167万7千円

産業文化会館の空調設備は設置から22年が経過しており、空調の機能が低下しているため改修を行う。

これで

平成25年度 一般会計当初予算歳出の主なもの
の説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

